

「労働市場政策における職業能力評価制度のあり方に関する研究会」 ヒアリング項目案

【職業能力評価等の国際的動向関係】

《ヒアリングの狙い》

- 職業能力評価に係る先進的取組みがなされているとされる主要諸外国等（英独、EUなどを想定）における職業能力評価制度・体系や、導入の社会的背景・労働市場政策上の要請、運用のポイント・課題等について把握、比較分析を行い、我が国における制度のあり方の検討に当たってのインプテーションを得る（研究会開催要綱2の(3)関係）。

《主な具体的ヒアリング項目》

1 該当国等の職業能力評価制度の概要

- 職業能力評価制度・体系の導入の契機（社会的背景・労働市場政策上の要請等）
- 具体の制度設計の特徴（分野・レベル設定、認定等の基準・要件等）
- 運営体制（具体的な評価方法、関係機関の役割分担・連携体制等）

2 職業能力評価制度の活用実態

- 職業能力評価制度の企業の採用選考、教育訓練、人事評価・配置等における活用実態・効果
- 利用実績（分野・レベル別取得人数やその増減）
- 運用上の課題として認識されている点、見直しの状況・議論

3 我が国にとってのインプテーション

- 主要国の職業能力評価制度・体系について、労働市場政策の観点から大まかな分類する場合の着眼点
- 日本における制度設計・運用上のインプテーション、比較検討・参照上の留意点

【業界団体・企業関係】

《ヒアリングの狙い》

- 各種検定等、職業能力評価の活用に係る先進的取組みがなされているとされる業界団体・企業における、導入の狙いや、採用選考、教育訓練、人事管理等の各局面での活用のポイント、課題等について把握、比較分析を行い、制度のあり方や運用設計に係る検討に当たってのインプテーションを得る（研究会開催要綱2の(2)関係）。

《主な具体的ヒアリング項目》

1 導入している検定制度その他の職業能力評価制度の概要

- 業界・企業として重視する職業能力の要素・側面（採用選考、人事管理それぞれの局面で）
- 導入している検定制度等の種別・概要
- （技能検定制度の場合を除き）開発の主体、具体の設計、運営体制、評価手法・基準等

2 検定制度等の活用実態

- 採用選考での活用実態、成果・課題
- 教育訓練での活用実態、成果・課題
- 人事評価、配置等での活用実態、成果・課題
- その他、検定制度の業界団体・企業の立場での意義・課題認識
- 検定以外の職業能力評価の方法、活用方法、検定との関係

3 検定制度等の今後のあり方に関する認識

- 検定制度等の今後の拡充、活用促進に関する展望
- 国に対する要望等